



自治労HP



ご意見
フォーム



じちろろ

自治労中央機関紙

発行所

全日本自治団体労働組合
東京都千代田区六番町1
TEL 03-3263-0273
FAX 03-5210-7422
定価一部30円

(組合員の購読料は)
(組合費の中に含む)

しまね
自治研

結びつなげる！しまね自治研

地域や社会に変化もたらす 自治研活動の芽吹きここに



自治労島根県本部 須田晋次委員長
連合島根 成相善朗会長
島根県 丸山達也知事
松江市 上定昭仁市長



(左写真から) 島根の郷土芸能・さだ須田太鼓のパフォーマンス、しまねsuper大使「吉田くん」と島根県観光キャラクター「しまねっこ」

自治労は10月4～5日、松江市を中心に第40回地方自治研究全国集会を開催し、2700人が参加した。島根での開催は1977年の第17回以来2回目。地域課題を新たな価値に変える取り組みを続けてきた島根の地で、約半世紀ぶりの自治研集会がなかった。



主催者あいさつ

石上 千博
中央執行委員長

今年6月の地方自治法の改正で最大の焦点となったのは、大規模災害や感染症まん延時などの事態に国が地方に対し「補充的な指示」を出せるようにするといった内容です。「地方自治」という理念に対する社会的な興味が薄れてしまっている事実を、私たちは認めざるを得ません。

地方自治を担う私たち個々人も、日頃から地方自治、住民自治に軸を置いた仕事を意識できているでしょうか。厳しい環境が、私たちから地方自治を問い直す、ま

自分に結びつなげる《何か》を 見つけ持ち帰る自治研集会に

地域や社会をより良い方向へと少しずつ変えていく実践の場としての意味を持つ「地方自治研究活動」。その日頃の取り組み成果が集結したのが、今回の「しまね自治研」だ。集会は、自治労本部・石上千博委員長の主催者あいさつ(要旨左囲み)により開幕。

続いて、地元実行委員会から自治労島根県本部・須田晋次委員長、連合島根・成相善朗会長、島根県・丸山達也知事、松江市・上定昭仁市長が歓迎のあいさつを述べた。

「チャレンジサポート」活動実績報告、自治研賞の表彰式が行われ、島根県観光キャラクター「しまねっこ」の登場で盛り上がり、2面に掲載。

午後、島根県庁で「しまね自治研」の参加者同士が気軽に交流できるような促した。



次の自治研集会開催県は福井。2年後にまた再会しよう

チャレンジサポート報告



単組の自治研活動を本部が助成する「チャレンジサポート」は今年で一段落する。

2022年の静岡自治研で優秀企画賞を受賞した神奈川・相模原市職労が「大学生と協同！自作アプリで地域情報を収集・共有」の活動報告を行った。

学生と協同で地域情報を 収集・共有するアプリ開発

基調提起・見どころ紹介



真つ暗な会場の中、一筋のスポットライトに氷室佐由里政策局長が浮かび上がる演出。会場内を壇上へと歩みながら、「自治の再興」と2年前の静岡自治研からスタートした「自治研ルネッサンス」をアピールした。

静岡、島根、福井へと 「自治研ルネッサンス」

第17回地方自治研究賞



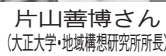
優れた自治研活動の実践と研究論文を表彰する自治研賞は、活動部門で神奈川・川崎市職労ほかの「『川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例』制定と今後の課題」と題するレポートが優秀賞を受賞した。研究論文では東京・都庁職の縄田大輔さんの「安くて美味しい直営給食のススメ」が優秀賞を受賞した。

優秀賞(活動部門)は 川崎市職労(神奈川)に

分科会一覽

部特別分科会
地域から考えるカーボン

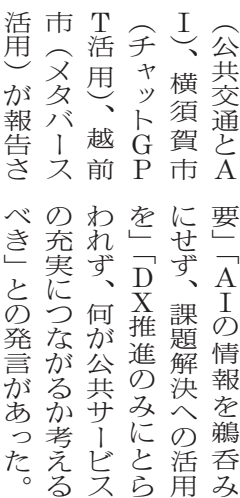
本部特別
分科会



パネル討論では石上委員長が「災害を招き、日常の屋外作業をも危険にする温暖化の防止は組合員の命を守る取り組みでもある」と指摘。飯塚市長は脱炭素化にむけた豊かな暮らしの実践、井上さんは雇用を損なわないカーボンニュートラル社会への公正な移行を訴えた。

最後に片山さんは、目標達成への社会的な運動の必要性を指摘。労働組合への期待を述べた。

狩野英司さんは AI の事例報告では、高萩市にしかできないことが重



づくりコーディネーターの伊藤知恵さん、島根県立大・学岩本晃典助教のアドバイスのあと、16班、3コースに分かれて秋晴れの空の下へと繰り出した。

各班で、街での「気づき」の写真を撮り、アプリに投稿して記録、最後に参

参加者からは「歩く」ことで新たな発見があった」「地元の人との交流から街づくりについての思いを知れた」との報告があり、最後に「本日の体験、成果を持ち帰り、職場・組合・住民へとりターンする」ことを全体で確認した。



リアルにいても、一緒に働く仲間にもやりがいを持って働いてもらうためには何ができるか、まできを考えて動くようになつた」と思ひの変化を経験がある。また、自ら学ぼうとする姿勢を持ち続けることで、公務の仕事を通して多方面に貢献できると強調した。

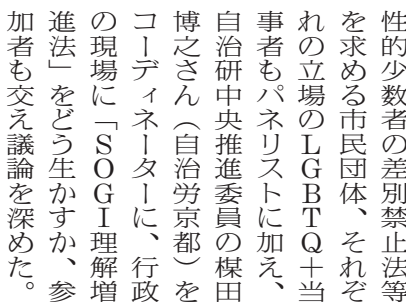
すればいいかを学ぶ「実践編」として松江市内で開催。参加者は158人。

午前中の「SOGI理解増進法」についての講演は、トランスジェンダー女性の弁護士として活躍している

めつけないこと。『何をし
てあげるか』ではなく、『何
をしてはいけないか』を知
ることが大事」と、性的少
数者についての基礎的な理
解と配慮を、わかりやすく
説明。「SOGI理解増進

何かが変わるわけではな
い」とバツサリ。職場での
差別事例を紹介しながら、
自身の体験談も含めて、
ジェンダーに平等な環境づ
くりを提起した。

午後の部は、政治、行政、



教えて
ロッキー!

ろうきんで
上手にお金を貯めたい!の巻

R ろうきん

お金を貯めるコツ

生活費を使う前に貯蓄する!

給与

-

生活費

=

貯蓄

Bad...

給与

-

貯蓄

=

生活費

Good!

一度の手続きで
毎月確実に貯まる
財形貯蓄やエース預金
がおススメ!



ろうきんなら、一人ひとりに合った
お金の貯め方を教えてくれるよ!

2022.04 ⑥1/8

ろうきん

お金の貯め方

「世界遺産の町で学ぶ歴史と暮らし」
 世界遺産と伝統の価値感じる

開催県本部
 特別分科会



代官所、武家屋敷、商人や職人の町屋など、江戸時代にタイムスリップしたかのような街並みを歩く参加者たち

開催県本部特別分科会は、大田市「石見銀山世界遺産センター」に60人の参加を得て開催。好天に恵まれ、街並み散策のフィールドワークなどを行った。
 「石見銀山遺跡とその文化的景観」は2007年に鉱山遺跡としてはアジアで初めて世界遺産に登録された。

翌5日は、分科会の目玉であった石見銀山の坑道跡「大久保間歩」限定公開ツアーが修繕工事によって突然の中止となり、見学先の坑道を急ぎ変更をする一幕もあった。
 「世界遺産の価値を肌で感じる」とができてよかった。子ども頃から郷土芸能に親しむ子どもも神楽に感動した。役員やガイドの方のおかげでとても奥深い歴史ある街並みを知ることができた。島根が大好きになりました。「今度は家族で来ます」等の声が聞かれた。

地域公共交通キャンペーン展開中



ぐるっと松江レイクラインバス（島根・松江市職員ユニオン）



福岡市地下鉄（福岡交通労働組合）

10/1(火)
 ~12/22(日)

自治労都市公共交通評議会は、春と秋に「くらしをささえる地域公共交通確立キャンペーン」を展開しています。市民の地域の移動を担う安全・安心の公共交通の重要性

をアピールします。キャンペーン期間中には持続可能な公共交通の確立、交通職場の人材確保などを訴え、駅頭やターミナルでのティッシュ配布行動等を通じて、キャンペーンの趣旨を広く市民に発信します。

取り組みの柱

- ◇新たな生活様式における公共交通の維持存続
- ◇持続可能な公共交通の確立
- ◇交通職場の人材不足の解消
- ◇燃料価格高騰の対応
- ◇自動車走行環境の整備
- ◇カスタマーハラスメント防止の取り組み
- ◇災害・老朽化に対応した取り組み
- ◇カーボンニュートラルの取り組み

第7分科会

「中山間地域の地域づくり」
 循環型農村をめざす
 未来志向の地域づくり

第7分科会は、サテライト会場・浜田市の「石中央ホール」で開催し、約300人の参加者と「中山間地域の地域づくり」を考え

討論した。

（一社）持続可能な地域社会総合研究所の藤山浩所長から、地域の資源（食、エネルギーなど）の地産地消による「域内所得創出」、地域の「域内経済循環」をはかること、また、域内外との連携による「ローカルコミュニティ」をめざしていくという考え方や、事例などについての講演を受けた。

また、島根県立大学地域政策学部の田中輝美准教授から

は、実践例などを交えて「関係人口」の考え方や、「関係人口」の効果として、地域住民の発見・誇り・知識につながり、地域住民がより主体的に変容し移住定住につながっていくとの講演があった。それぞれの講演を基に、島根県邑南町が「地域運営の小さな拠点づくり」、岡山県西栗倉村が「村の環境資本から再エネ創出」、島根県知夫村が「人口増のキセキ」、高知県大

川村が「継続から生まれた新たな出会い」と題し、取り組みの経過と工夫、効果や課題などの事例報告を行った。

分科会は、講師2人のセミナー、事例報告4地域と鳥取県日吉津村、広島県三次市、高知県の町の3地域を加えた8つのコーナーを設けて「ポスターセッション」の時間を持つなど、参加者が自分の考えを話したり交流できるような運営の工夫を凝らした。

組合員の声を
 交渉の場へ

交渉ゾーン：11月第3週

全国統一行動日：11月15日(金)

2024確定闘争がはじまります。人事院の「プラス勧告」で安心してはいけません。「私たちの賃金は労使交渉で決まる」のです。「要求なくして成果なし」です。私たちの《声》を集め、当局にぶつけましょう。

すべての年代の賃金引上げと賃金運用の改善、地域の実情に応じた諸手当の改善、中途採用職員や会計年度任用職員の処遇改善など、「1単組・1要求」の取り組みを進めましょう。

BOOK

さあ、ヨシタケシンスケワールドへ
 「しばらくあかちゃんになりますので」

絵本の最新コーナーで「さあ。あなたも、あかちゃんに。」という帯の一文が目にとまった。この誘い方は絶対にヨシタケシンスケさんの作品だと思っただけで表紙を見直したら正解。この人が描くイラストも、ちょっとシニカルで特徴がある。

子どもの視点で描かれているのに大人の心にもぐっと響く。優しさというモアを交えながら琴線にも触れられた

PHP研究所
 1,540円

まったらお腹の底から笑ってくれるかな。あわせて「一年一組せんせいあね」もぜひお勧めである。

（森田聡子 岐阜県本部）



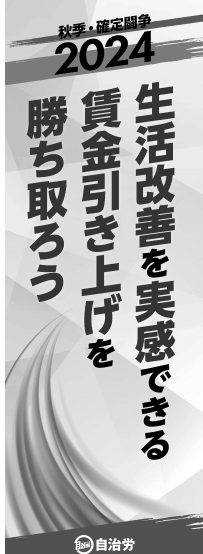
「人と地域、未来形のつながり方を考える」パネルディスカッション



自治労ホームページ
 組合員限定ページ

各都道府県・政令市等の人事委員会勧告の最新情報を、連日更新中です。

パスワード
 jichi2024



秋季・確定闘争ポテッカーを掲示しましょう



秋季・確定闘争ポテッカーを掲示しましょう

2025年版 10月31日発行

自治労出版センター編集・発行

じち35 手帳

定価550円（本体500円＋税10％・送料別）

- 【資料】
- ・自治労本部・自治労共済協、職生協統括本部・自治労共済推進本部の各部署の電話・FAX一覧
 - ・自治労関連団体等の電話・FAX一覧
 - ・自治労各県本部・自治労共済協、自治労共済推進本部各県支部の住所・電話・FAX一覧
 - ・地方自治研究センター・研究所の住所・電話一覧
 - ・自治労共済の事業種目案内／連合構成組織一覧
 - ・年齢早見表



(株)自治労サービス 自治労出版センター
 〒102-0085 東京都千代田区六番町1 自治労会館 6F
 TEL. 03-3263-2023 FAX. 03-5213-5485



申込
 受付中